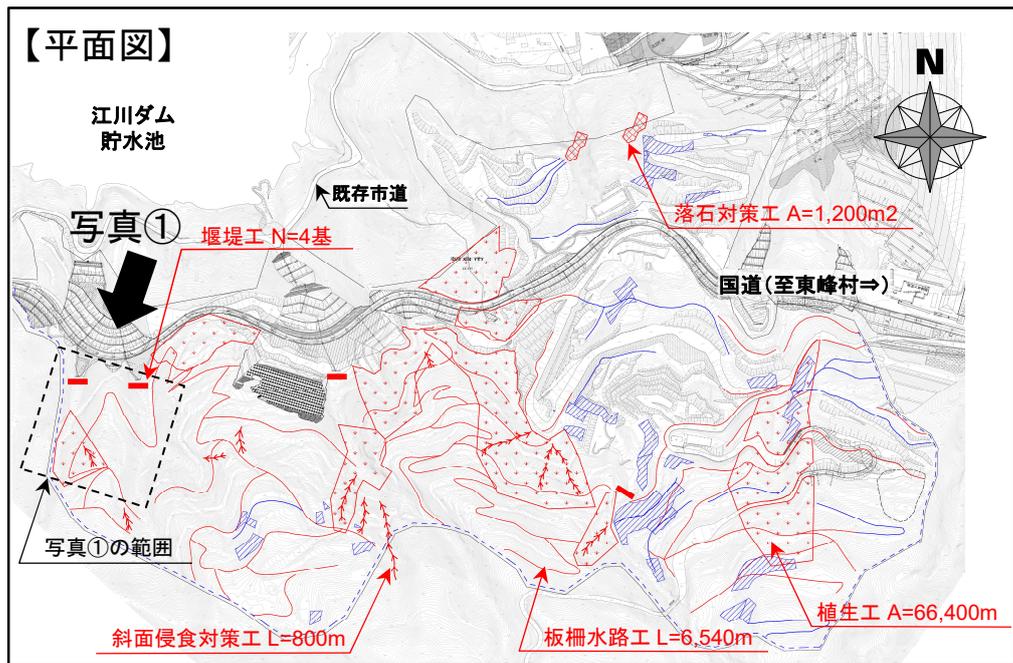
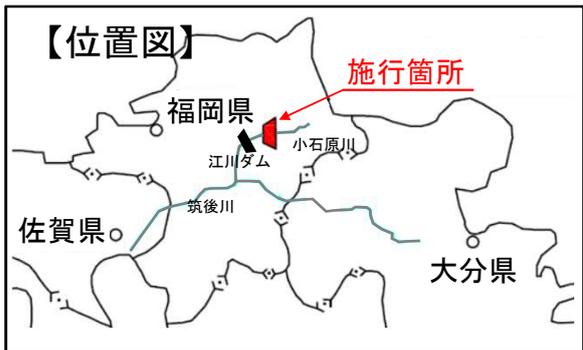


(59)・(60) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	水資源開発事業 <small>テクゴ</small> <small>コイシワラ</small> (筑後川水系小石原川 小石原川ダム)		
事業主体	水資源機構		
施行地	福岡県朝倉市江川地先 <small>アサクラ エガワ</small>		
事業費	495.0 (百万円)	国費	国交省分 435.6 厚労省分 29.7 (百万円)
内容	令和2年7月豪雨により、ダム建設事業の材料山跡地において、斜面の侵食、土砂流出が発生した。今後の豪雨による隣接国道及びダム貯水池への土砂流入など、更なる被害の拡大を防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に土砂流出防止対策を行うことで再度災害防止を図り、隣接国道の通行の安全やダム貯水機能を確保することで、地域住民等の安全・安心を確保する。		

令和2年7月豪雨で土砂流出が発生した斜面に対して土砂流出防止対策を実施し、再度災害を防止

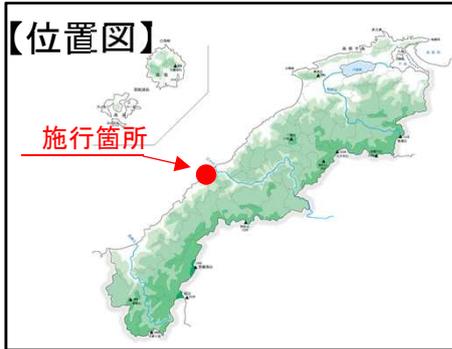


## (61) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(和木波子海岸) <sup>ワキハシ</sup>		
交付金計画名	総合的な水の安全・安心基盤整備(防災・安全)(河川)		
事業主体	島根県		
施行地	島根県江津市和木町地先 <sup>ゴウツ ワキ</sup>		
事業費	600.0 (百万円)	国費	300.0 (百万円)
内容	令和2年5月20日の波浪により、海岸が侵食され海岸沿いの道路が損傷し、9日間通行止めを行った。 今後の波浪に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に波浪対策を実施して海岸の侵食を防止し、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年5月の波浪で被災した和木波子海岸で人工リーフの整備を実施し、再度災害を防止

【位置図】



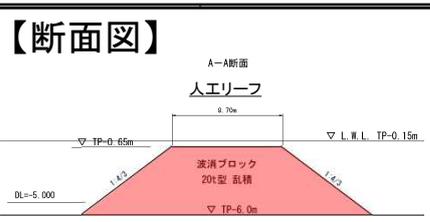
【写真①海岸侵食状況】



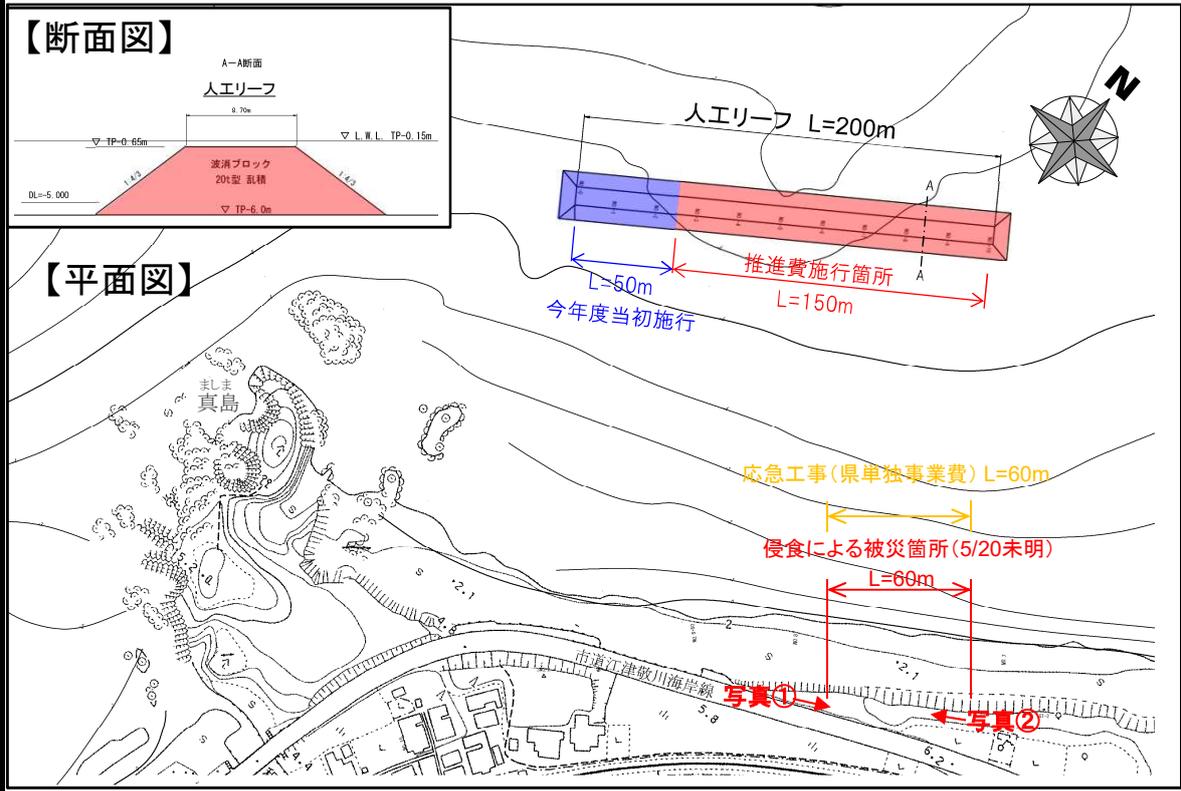
【写真②海岸侵食状況】



【断面図】



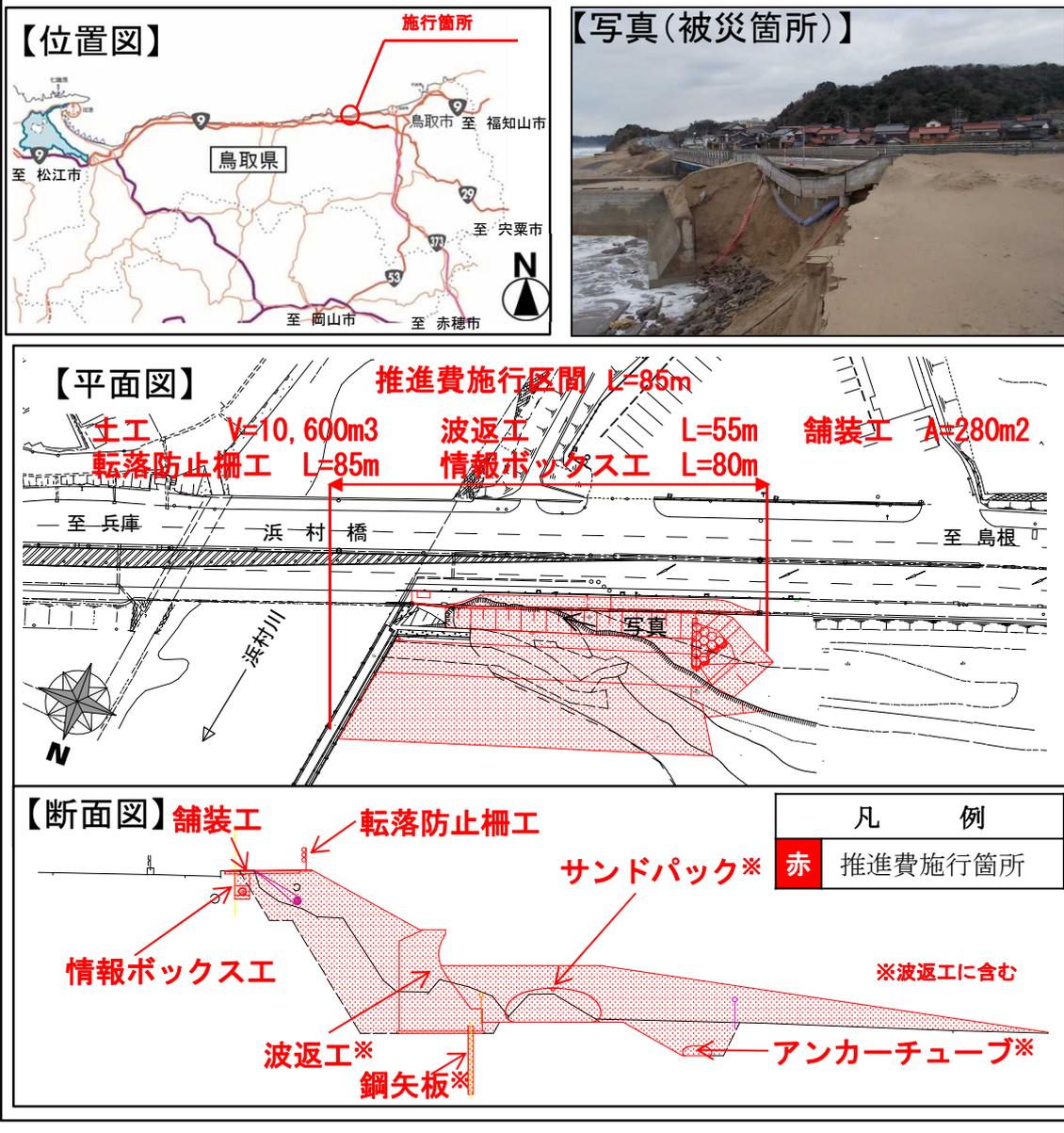
【平面図】



## (62) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道9号)		
事業主体	国土交通省		
施行地	ケタカ ハマムラ 鳥取県鳥取市気高町浜村		
事業費	92.0 (百万円)	国費	92.0 (百万円)
内容	令和2年1月1日に一般国道9号で高潮による浸食崩壊が発生し、片側2車線道路のうち1車線の通行規制を行っている。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(波返工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

令和2年1月の高潮による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、波返工 55mなどの整備を行う。

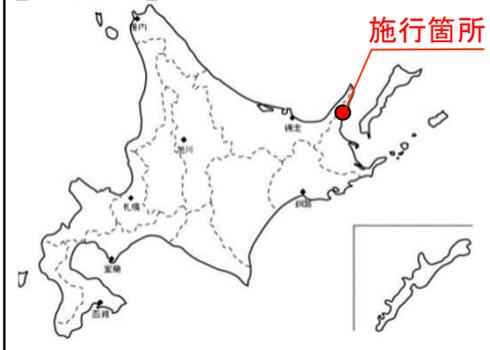


## (63) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路維持管理事業(一般国道334号)		
事業主体	国土交通省		
施行地	メナシ ラウス ユノサワ 北海道目梨郡羅臼町湯の沢町231林班		
事業費	100.0 (百万円)	国費	100.0 (百万円)
内容	令和2年4月30日に一般国道334号で雪崩が発生し、斜面から滑り落ちた雪が国道に堆積した。 このため、推進費を活用して緊急的に雪崩対策工事(雪崩予防杭工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

令和2年4月の雪崩が発生した箇所に対して、再度災害防止対策として、雪崩予防杭工 162基の整備を行う。

【位置図】



【写真(被災状況)】

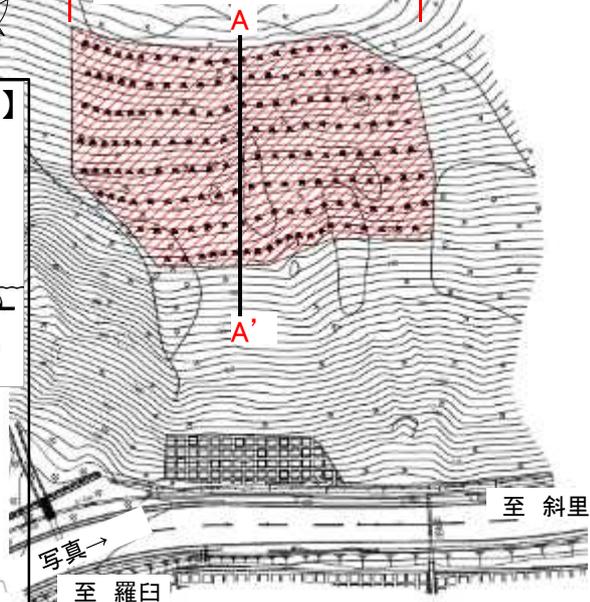


凡例
<span style="background-color: red; color: white; padding: 2px;">赤</span> 推進費施行箇所

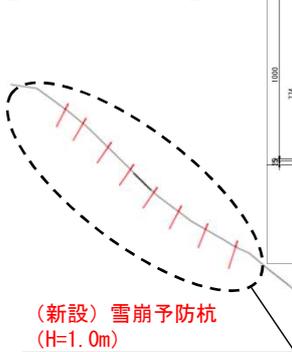
【平面図】



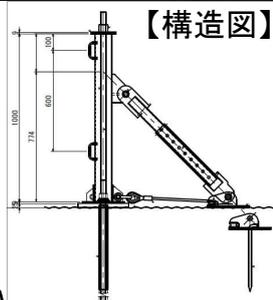
推進費施行区間 L=60m  
雪崩予防杭 N=162基



【A-A'断面図】



【構造図】



写真→

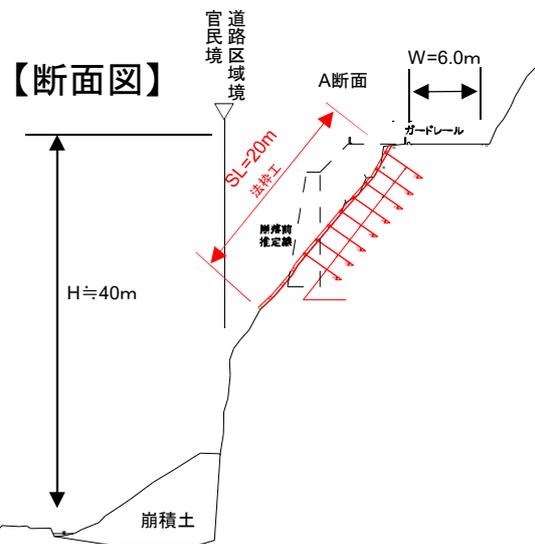
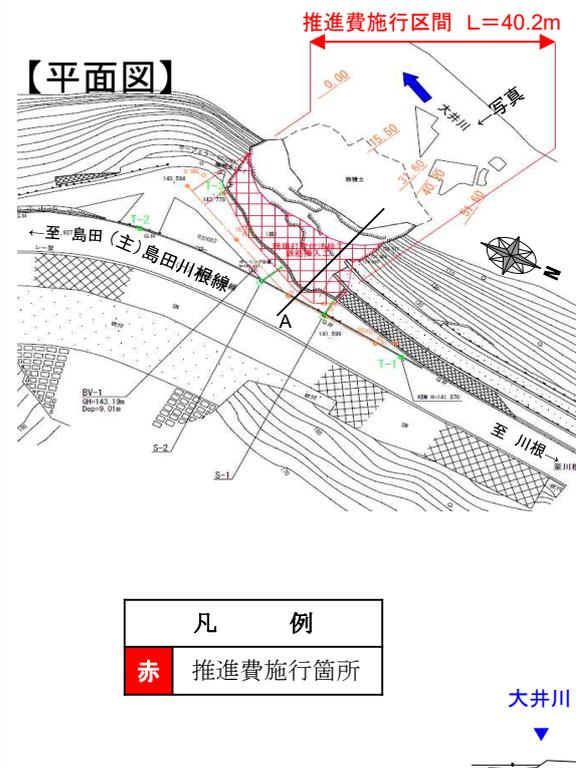
至 羅臼

至 斜里

## (64) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	シマダカワネ 道路更新防災等対策事業(主要地方道島田川根線)		
事業主体	静岡県		
施行地	シマダ ウアミ 静岡県島田市鵜網		
事業費	51.0 (百万円)	国費	25.5 (百万円)
内容	令和2年4月17日に主要地方道島田川根線で崖崩れが発生し、路肩通行規制を行っている。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(法砕工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

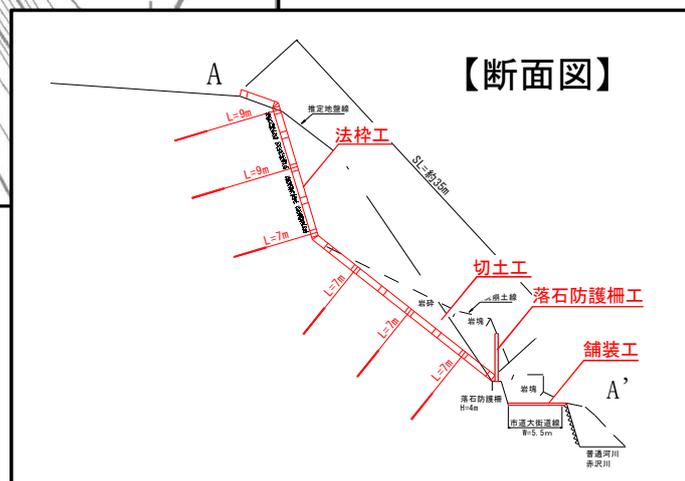
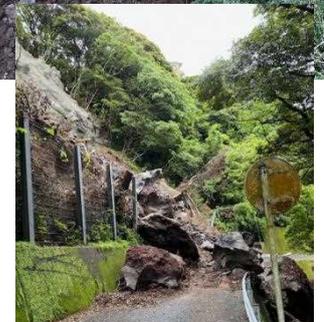
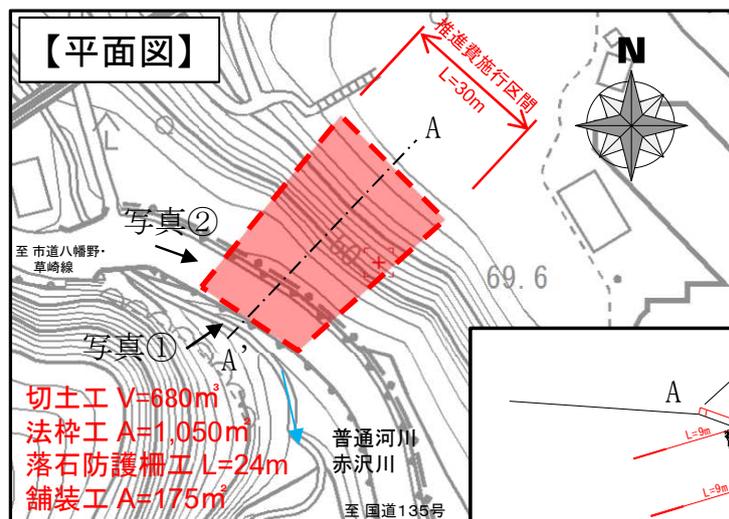
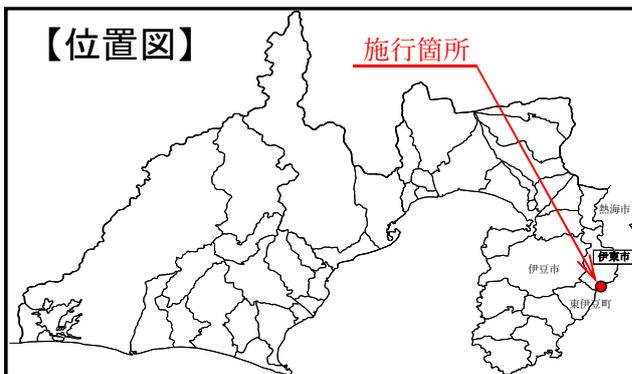
令和2年4月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法砕工 658m<sup>2</sup> の整備を行う。



## (65) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	道路更新防災等対策事業(市道大街道線) <small>ダイカイドウ</small>		
事業主体	伊東市		
施行地	静岡県伊東市赤沢 <small>イトウ アカザワ</small>		
事業費	126.0 (百万円)	国費	63.0 (百万円)
内容	令和2年1月31日に市道大街道線で崖崩れが発生し、全面通行止めを行っている。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(法枠工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

令和2年1月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工 1,050m<sup>2</sup> などの整備を行う。



凡 例	
赤	推進費施行箇所

## (66) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(金沢市立卯辰山公園) <small>カナザワ ウタツヤマ</small>		
交付金計画名	安全安心で暮らしやすいまちづくり(防災・安全)		
事業主体	金沢市		
施行地	石川県金沢市東御影町 <small>カナザワ ヒガシミカゲ</small>		
事業費	57.0 (百万円)	国費	28.5 (百万円)
内容	令和2年7月8日に金沢市立卯辰山公園内で崖崩れが発生し、隣接する道路の片側通行規制を行っている。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(法枠工等)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

令和2年7月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工 861m<sup>2</sup>などの整備を行う。

【位置図】

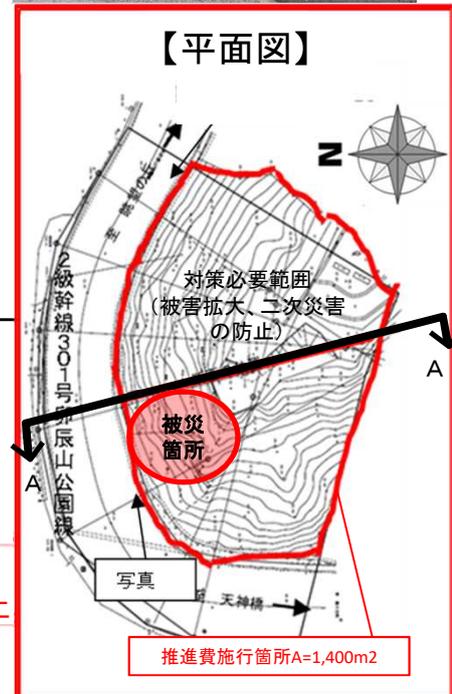


【写真(被災箇所)】

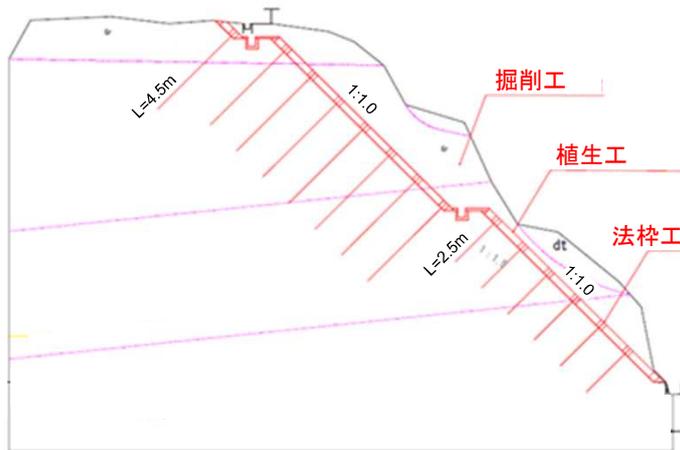


凡 例	
赤	推進費施行箇所

【平面図】



【断面図】A-A断面



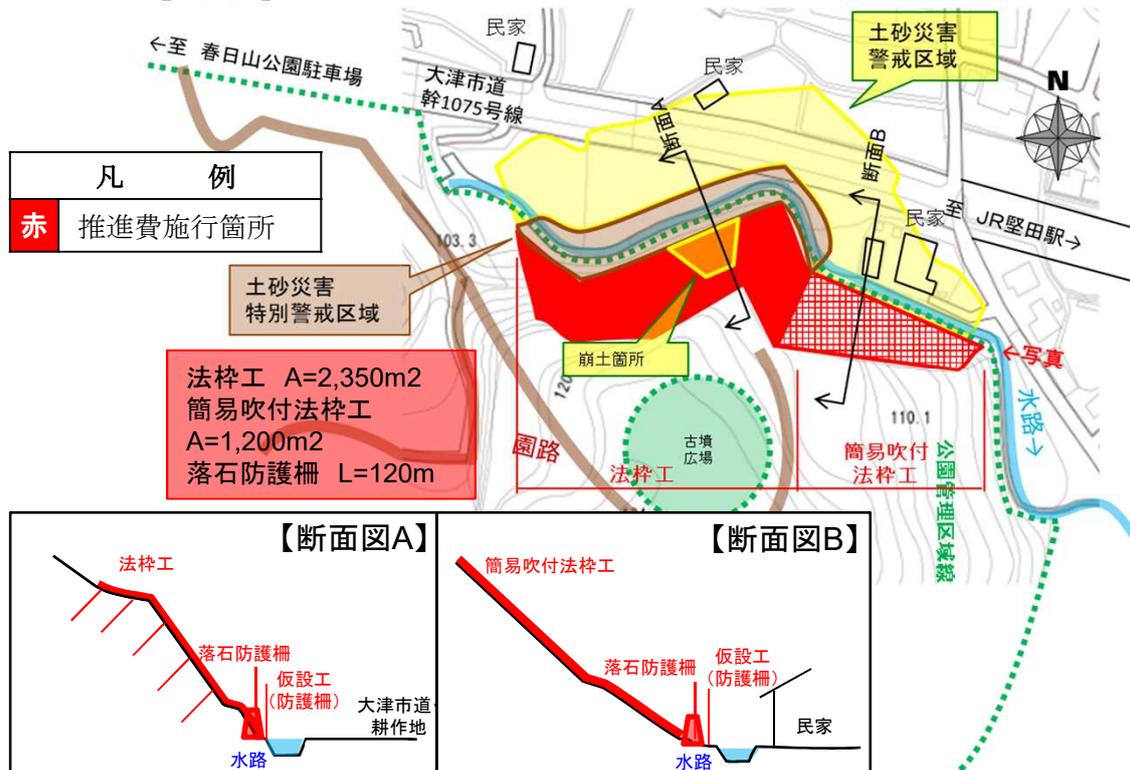
## (67) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	カスガヤマ 防災・安全社会資本整備交付金事業(春日山公園)		
交付金計画名	滋賀県における安全安心な都市公園づくり(防災・安全)「その2」		
事業主体	滋賀県		
施行地	オオツ マノ タニグチ 滋賀県大津市真野谷口町		
事業費	188.0 (百万円)	国費	94.0 (百万円)
内容	令和2年7月8日に春日山公園内で崖崩れが発生したことで、水路に土砂が流入し、隣接地が浸水する被害が発生した。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(法枠工等)を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。		

令和2年7月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、法枠工2,350m<sup>2</sup>などの整備を行う



【平面図】



## (68) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	鉄道施設総合安全対策事業(鞍馬 <sup>クラマ</sup> 二ノ瀬 <sup>ニノセ</sup> 町・鞍馬線)		
事業主体	叡山電鉄株式会社		
施行地	京都府京都市左京区鞍馬 <sup>サキョウ クラマ ニ セ</sup> 二ノ瀬町		
事業費	100.000 (百万円)	国費	33.333 (百万円)
内容	令和2年7月の豪雨により、鞍馬二ノ瀬町・鞍馬線の隣接地山が崩壊し、鉄道の一部区間が運休となっている。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に鞍馬二ノ瀬町・鞍馬線に鉄道施設の強化工事(落石防護柵等)を実施し、鉄道利用者の安全・安心を確保する。		

令和2年7月の豪雨による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、落石防護柵工 70mなどの整備を行う。

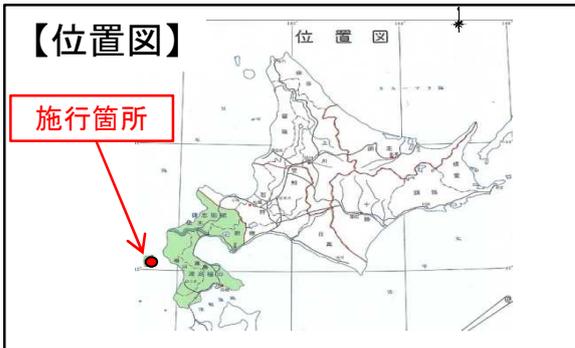


## (69) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	国有林野内治山事業 <sup>ユノハマ</sup> (湯浜地区)		
事業主体	林野庁		
施行地	北海道奥尻郡奥尻町字湯浜 湯の浜国有林2416ろ林小班 <sup>オクシリ オクシリ ユノハマ</sup>		
事業費	100.0 (百万円)	国費	100.0 (百万円)
内容	令和2年6月に治山事業湯浜地区で崖崩れが発生し、崩壊した岩が道道39号路上まで落下していたことが確認された。 このため、推進費を活用して緊急的に法面对策工事(落石防止網工)を行うことで再度災害防止を図り、通行者等の安全・安心を確保する。		

令和2年6月の崖崩れによる被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、落石防止網工8,000m<sup>2</sup>の整備を行う。

【位置図】



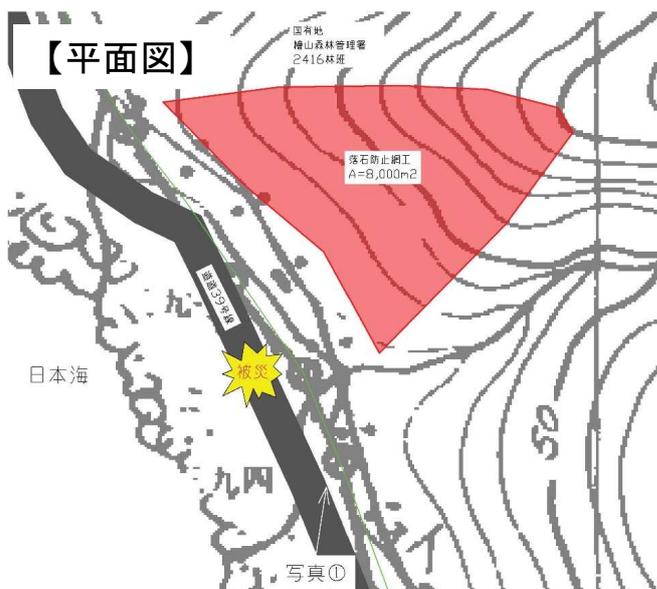
【写真(斜面状況)】



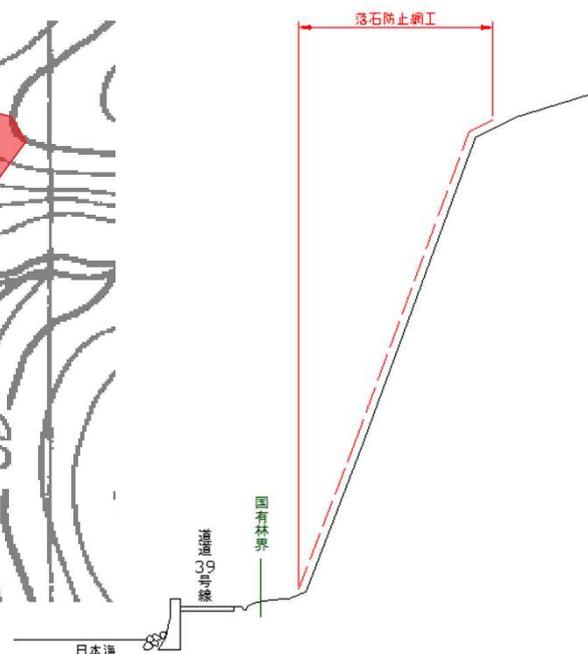
凡 例

赤 推進費施行箇所

【平面図】



【断面図】



## (70) 防災・減災対策等強化事業推進費(災害対策)

事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(市道駅前花島線) <small>エキマエハシマ</small>		
交付金計画名	宮城県の市街地における台風第19号災害からの復興を推進する社会資本整備(防災・安全)		
事業主体	角田市		
施行地	カクダ ヨコクラ ヒダリセキ 宮城県角田市横倉字左関地内		
事業費	81.4 (百万円)	国費	40.7 (百万円)
内容	令和元年10月の東日本台風に伴う豪雨により、尾袋川が越水し、家屋浸水などの被害が発生した。 今後の豪雨に対し、再度災害防止を図るため、推進費を活用して緊急的に市道駅前花島線に越水対策工事(止水壁工)を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。		

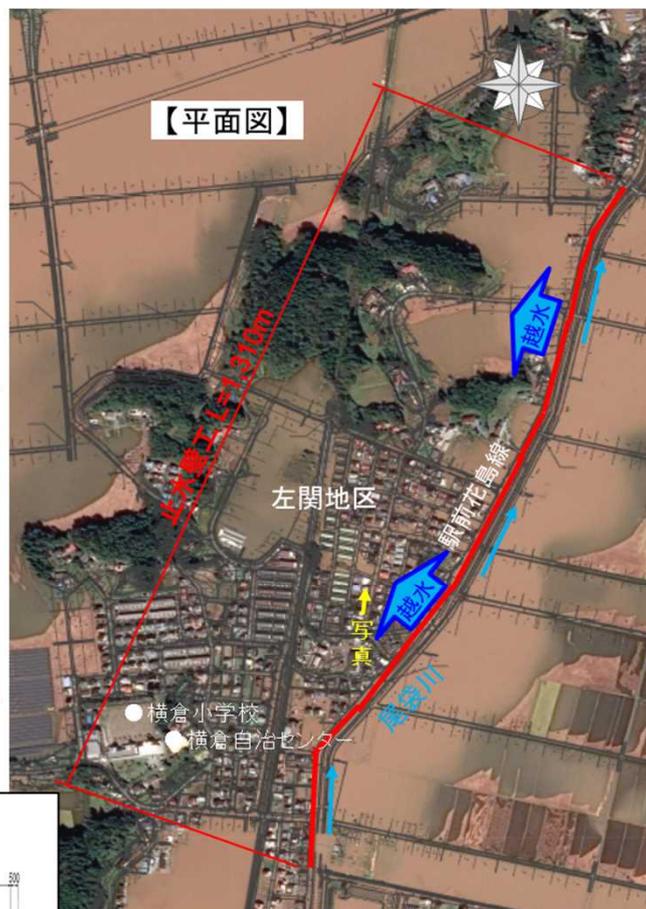
令和元年10月の台風による被害を受けた箇所に対して、再度災害防止対策として、止水壁工 1,310mの整備を行う

【位置図】



【写真(被害状況)】

【平面図】



【断面図】

